

第2回芸西村教育施設集約化 事業説明会

令和7年9月28日（日）

芸西村教育委員会

復建調査設計(株)

本日のプログラム（流れ）

1. 教育施設集約化事業について

- 1-1.事業の背景と状況について（事務局より説明）
- 1-2.第1回事業説明会の結果について

2. 今年度のワークショップの検討状況について

- 2-1.第1回事業説明会の意見と対応について
- 2-2.ワークショップの取組状況

3. その他（質疑応答と今後の予定ほか）

- 3-1.質疑応答
- 3-2.今後の予定について

1. 教育施設集約化事業について

1-1.事業の背景と状況について

教育委員会よりご説明いたします。



3

■集約化する理由

- 教育施設の老朽化→ 建替えが必要！
- 保育所、幼稚園、小学校、中学校が対象
- 個別の建替えでなく、集約化が望ましい
- 財政面だけでなく、学校運用の面からも
- ・ ・ 教科担任制～小中連携～幼小連携等



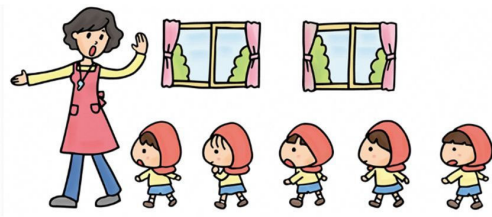
■場所の選定について

- プロジェクトチームが複数の候補地を比較し、現小学校・幼稚園の敷地を答申。その後、基本構想検討を経て、隣接民地を含めて、計画敷地となった
- 他の候補地において2万2千㎡の平地確保は困難であり、村の中心部の当地は総合的に最も有力となった
- 仮に丘陵山地に平地を造成すると、費用は18億円以上かかる上、通学距離が延び、財政・利用面での負担は増加

4

■防災教育について

- ・ ハザードマップ上の浸水想定区域外であるが、想定外の被災に備えるため、防災教育をより徹底！

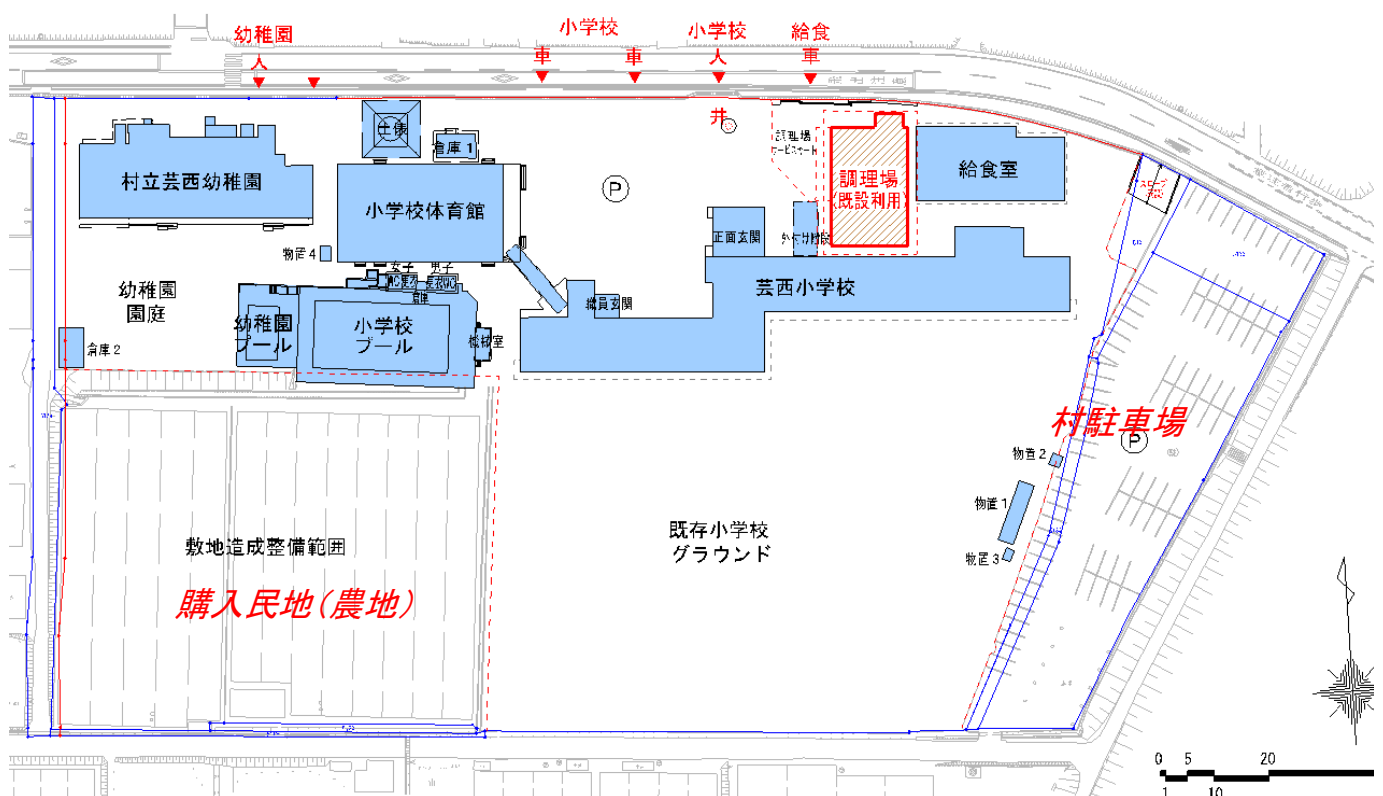


■今後の取り組み

- ・ R6 年度に基本計画案を検討委員会にてとりまとめ
- ・ →R7年度からは、保護者や学校関係者、公募住民などで構成する「ワーキング部会」において見直し検討中！
- ・ この結果を踏まえ、来年度から基本設計業務を委託予定
- ・ →未来を担う子どもたちのための大切な施設づくりを展開して参ります！

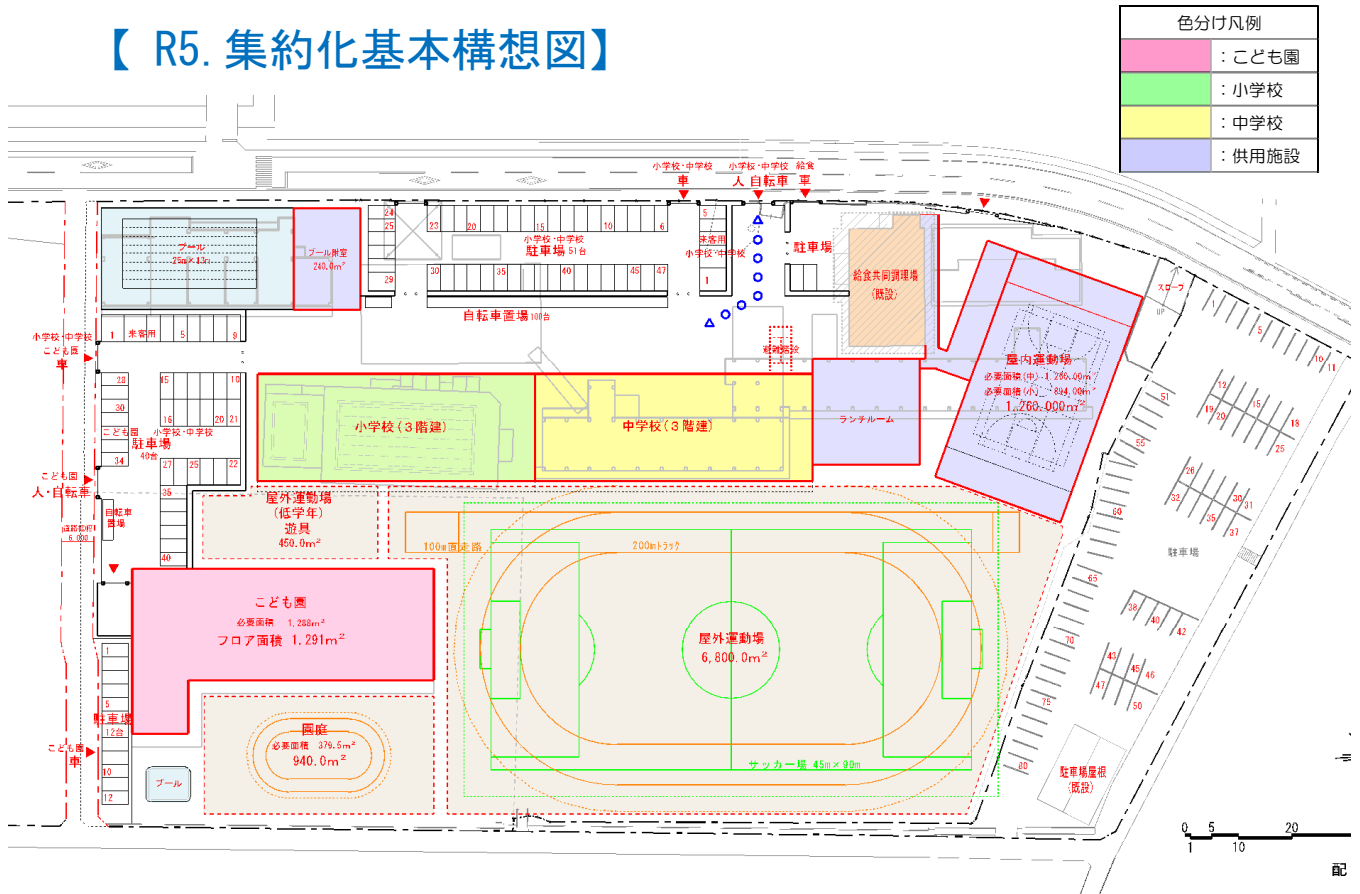
5

【現在の敷地と幼稚園・小学校の状況】



6

【 R5. 集約化基本構想図】



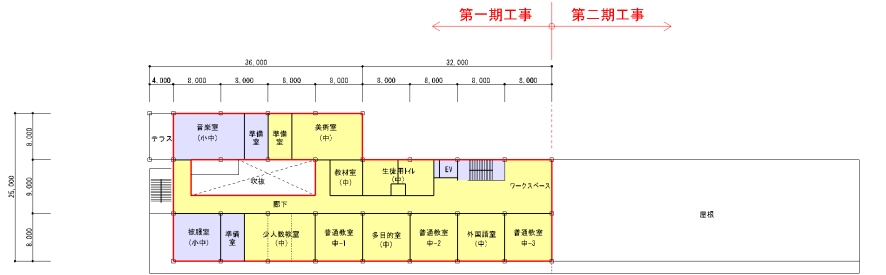
7

【 R6. 基本計画案】 1/2

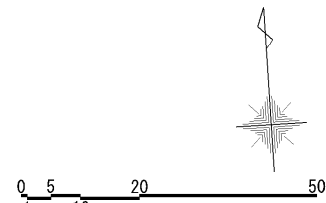
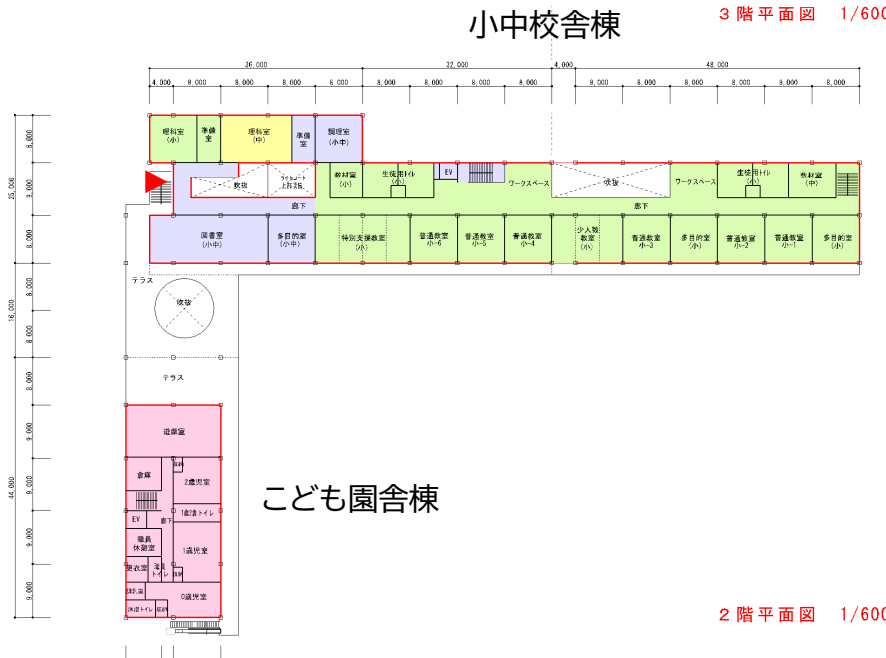
※見直し中



8



色分け凡例	
	：こども園
	：小学校
	：中学校
	：共用施設



1-2.第1回事業説明会の結果について

1) 敷地選定について

- ◇この場所以外に適地はないか？
- ◇保育教育4施設を集約化する敷地として妥当なのか？
- ➡ない。ここを敷地として計画、事業化する。

2) 敷地の災害リスク対策はどうか

- ◇大津波が来た場合に大丈夫か？◇浸水時に迎えに行けるのか？
- 特に乳幼児の避難や迎えが心配であるがどうか？
- ➡宅地高さの安全性、建物屋上への避難階段設置、引き続きここを利用する上でリスク増加はない。可能な範囲で宅地やフロア高の嵩上げ等も検討する。

3) 幼保小中の統合集約化について

- ◇幼保は別な場所でも良いのではないのか？中学校跡地など別敷地にできないか？
- ➡ここに4施設を集約する。幼保の中学校跡地への移設は困難と考える。

4) 工事中の学習環境の確保＝騒音・振動対策など

- ◇この計画（北側校舎）では近接による環境悪化や長期間工事は耐え難い。
- ➡「南側に校舎配置案」等も検討する。今後、素案を提示し意見交換予定

1-2.第1回事業説明会の結果について

5) プール施設について

- ◇工事期間が長く、**プールが使えない時期**はどうするのか？
→「**南側に校舎配置する案**」ほか、**使えない期間を短くする**。
- ◇小中共用型では、先の高知市内の事故もあり、**安全対策**をどう考えるのか？
→小中の日時や時限を離すなど、**置き型タイプ**の上げ床も検討したい

6) 構内駐車場について

- ◇現4施設で合計**76台**在使用中。現計画の**95台**の駐車場を設ける必要があるか？
- ・ →**東隣村駐車場**を割付け直せば**10台以上**は増える。
- ・ →**保育所跡地**と**青果市場の東隣村駐車場**の利用は可能性あり →後段で図説明

7) 駐車場の利用について

- ◇前段の対応の基準のとおり。**小学校東村駐車場は教育施設の土地利用は可能**とし、保育所跡地と保育所駐車場（青果市場東の駐車場）は村駐車場としての利用を可能とする。

11

【集約化事業の取組みの経緯と今年度工程】

日程	◆検討委員会	■ワーキング部会（WS）	●住民説明会
令和4年11月 ～ 5年11月	■基本構想の策定 ◆集約化検討委員会（1～5回） 済		
令和6年4月 ～ 7年3月	■基本計画の策定 ◆第1～4基本計画検討委員会等検討 済		●第1回住民説明会 R7.3.2 済
令和7年 5月	■基本計画の見直し ◆第5回基本計画検討委員会 ・住民説明会結果の報告 ・今年度の進め方 済	■第1回住民WS（5月29日） ・これまで計画～設計条件 ・住民説明会の意見と対応方針 ・基本計画の点検・評価 済	
7月下旬 ～9月上旬	◆第6回基本計画検討委員会 ・第1回WS結果と対応方針 ・今年度の進め方 済	■第2回住民WS（8月1日） ・変更案の提示と意見交換 ・比較案検討、優先順位付け 済	●第2回住民説明会 R7.9/28
10月～ 11月	◆第7回基本計画検討委員会 ・住民説明会結果報告 ・今年度の進め方	■第3回住民WS（10月予定） ・最終案確認～利用計画等の意見交換 ・課題抽出～基本設計条件の提示	●第3回住民説明会 R7.12/21予定
12月 ～ 令和8年3月	とりまとめ ～ 基本設計業者の選定準備期間		

12

2. 今年度のワークショップの検討状況



13

第1回

芸西村 教育施設集約化ワーキング部会

テーマ: 集約化の計画条件と基本計画を知ろう!

基本計画の課題や解決のための提案・意見を出し合おう!

■教育施設集約化ワーキングの目的は・・・

芸西村教育施設等の集約化のため、芸西保育所及び芸西幼稚園を認定こども園に統合移転し、また芸西中学校を当該敷地に移転し、芸西小学校とともに複合施設とし、これら全ての施設を同一敷地内に建設するため、令和6年度にはこの施設集約化の「基本計画案」がとりまとめられました。

教育施設集約化ワーキング部会は、この基本計画案について、教育保育関係者や保護者、地域住民との意見交換を行い、翌年度の設計条件作成のための参考とするため、全3回実施します。今回はその1回目です。

構成員

芸西保育所

副所長 三谷 聡幸
保護者 和田 有生 保護者 國澤 阿希

芸西幼稚園

副園長 山地 光 保護者 松本 哲郎
保護者 佐藤 奈々 保護者 小原 真貴

芸西小学校

教頭 中村 啓子 保護者 岡村 璃沙
保護者 都築 麗 保護者 中山 美里

芸西中学校

教頭 竹本 佳奈
保護者 岡林 唯

教育委員 藤戸 由香
民生児童委員 岩宗 輝
一般公募 公文 基嗣
一般公募 岡村 啓菜
一般公募 里見 佳子

教育委員 吉永ゆかり
一般公募 中山 麻紀
一般公募 大井 規史
一般公募 松本 谷子

■第1回目を開催しました

- 日時: 2025年5月29日(木) 19:00
- 場所: 芸西村生涯学習館 2階学習室
- 参加人数: 21名



1



参加者は4班に分かれ、基本計画案に対して思う「良い点」「課題・問題点」「疑問点」を付箋に書き出しました。

2



班で出た課題や疑問点に対する「改良・改善アイデア」について幅広く、議論をしました。

グループワークの様子



3



意見を書いた付箋を大判の模造紙に張りながら、一人ひとりの考えをお話いただき、班内で考えを共有しました。

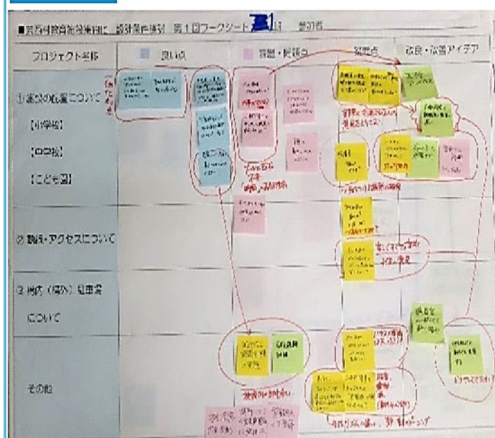
4



最後に、それぞれの班で出た主な意見を取りまとめ、各班から全員に向けて発表して、ワーキングの成果を共有しました。

15

1 班



良い点

- 保幼小中の一貫教育で、子どもたちが安心して過ごせる。
- 災害時に幼保・小中の子供が同じ場所にいることで、安心感が得られる。

疑問点

- 実際に利用する教職員や子供の意見を聞き取る機会はあるか。
- 津波対策(避難場所の確保)のため、こども園を3階建てにできないか。

令和7年5月29日実施

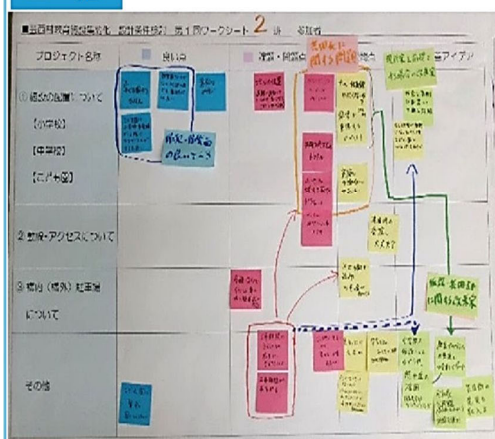
課題・問題点

- 工事期間中のプールの利用が困難になる点が課題である。
- 予算内で理想的な施設が実現できるかどうか心配である。

改良・改善アイデア

- 工事期間中は、現中学校のプールを活用してはどうか。
- 図面作成の段階で、教職員の意見を取り入れる。

2 班



良い点

- 子ども園から避難しやすい設計になっているのが良い
- 教育面だけでなく、防犯面でも集約化は有効である。

疑問点

- プールや体育館の利用が重複しないか
- 小中の行動範囲が干渉しないか。
- 津波発生時の避難や受け渡しは安全に行えるのか。

課題・問題点

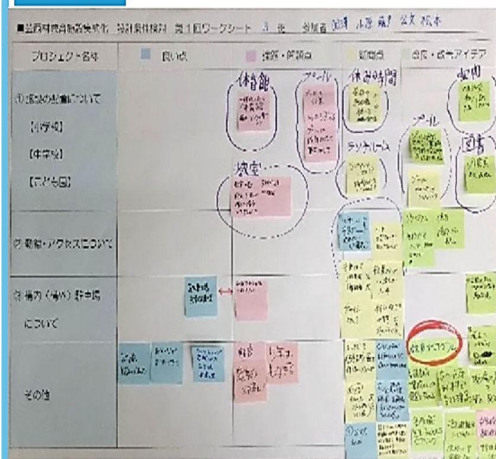
- プールが道路に面しており気になる。
- 共用することでのトラブルが懸念。
- 参観日などのイベント時に駐車場が不足する可能性がある。

改良・改善アイデア

- 校舎を南側に配置して、工期を短縮することを検討する。
- 中学校を仮設校舎にする事等、他施設の活用と合わせて検討してはどうか。

3 班

令和7年5月29日実施



良い点

- 各年代の交流できる機会が増えるのが良い。
- ワークショップを開いたことは非常に有意義だった。

疑問点

- 小中学生の時間割のずれはどうか
- 集約化することによって不審者等の危険性はどうか。
- 施設利用者への聞き取りは十分か。

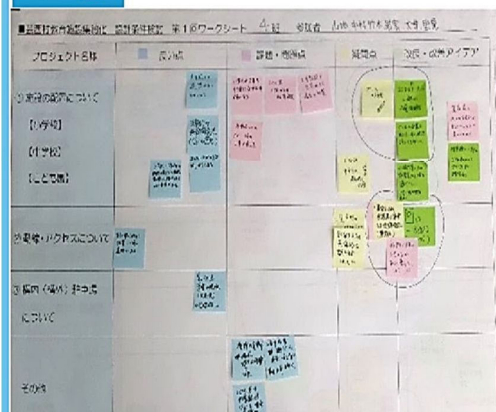
課題・問題点

- プールの位置、工事中の騒音・振動対策、中学校の跡地利用など。
- 将来的に教室数が不足する可能性はないだろうか。

改良・改善アイデア

- 大気汚染に備えて、室内プレイルームを設置。プールを屋根付きでどうか。
- 教育プログラムとともに施設を考えてはどうか。関係者へのヒアもしっかり。

4 班



良い点

- 先生同士の連携、園児・児童・生徒間の交流が取りやすくなる点が良い。
- 乳幼児・学童(兄弟等)の送迎が合理的となる。

疑問点

- プールが授業で使えない期間が発生してしまうのか。
- 災害時の具体的な避難経路はどのように想定されているのか。

課題・問題点

- 小学生が長期間騒音に悩まされるのは問題である。
- こども園の2階からの転落の危険性も考慮する必要がある。

改良・改善アイデア

- プールを地下(体育館)に設置することを検討してほしい。
- 運動場の水はけを考慮して、ゴム素材を使用するのが良い。

第1回WSから基本計画案の見直しについて

1) 敷地選定について

- ◇この場所以外に適地はないか、他候補地との比較検討をしたのか？
- ➡過去の実施済み。当地を敷地として計画、事業化する。

2) 幼保小中の統合集約化について

- ◇こども園は別な場所でも良いのでは？中学校跡地など別敷地にできないか？
- ➡ここに4施設を集約する。幼保の中学校跡地への移設は困難。

3) 災害リスク対策はどうか

- ◇大津波が来た場合に大丈夫か？ 浸水時に迎えに行けるのか？
- 特に乳幼児の避難や迎えが心配であるがどうか？
- ➡宅地高さの安全性、建物屋上への避難階段設置し、引き続きここを利用する可能な範囲で宅地やフロア高の嵩上げ等も検討し、リスクを増加させない。

4) 工事中の学習環境の確保＝騒音・振動対策など

- ◇現計画(北側校舎)案では近接による環境悪化や長期間工事は耐え難い。
- ➡「南側に校舎配置案」等を検討する。今後、素案を提示し意見交換予定。

5) 工事中のプール施設利用について

◇工事期間が長く、プールが使えない期間は長過ぎて困る！

→「南側に校舎配置する案」ほか、使えない期間を短くする。

◇小中共用型では、先の高知市内の事故もあり、安全対策をどう考えるのか？

→小中の日時や時限を離すなど、置き型タイプの上げ床も検討する。

6) 構内駐車場について

◇現在4施設で使用されている台数（100台）に加え、送迎待ちや学校行事時の予備台数の確保が可能か？

→東隣り村駐車場敷地（約2,700㎡）を含めて敷地を拡大し対応する。

→村駐車場は保育所跡地と青果市場の東の駐車場を利用する。→次頁参照！

7) 共用施設の利用について

◇体育館やプール、グラウンドなど、集約化により共用施設が発生するが、運用上の問題はないか？

→施設複合化、また義務教育一貫校となった場合でも、園児・児童生徒の数クラス数から見ると、十分に教育運用できる規模と考える。

→今回敷地面積を更に拡張（前項）するので各園庭校庭の区分も可能となる。

。

19

基本計画案の見直し【計画条件】について

1)集約する教育(保育)施設

- ・保育所、幼稚園、小学校、中学校、体育館、プール等
- ・職員関係者約100台+送迎・来賓の駐車場（数十台）を確保

2)敷地の範囲

- ・幼稚園南側の民地を含む範囲の面積：約21,925㎡
- ・学校東隣の村駐車場を含む範囲では：約24,660㎡（2,730㎡増）

3)施設の面積・規模

- ・建築施設の延床面積 9,800㎡（基本計画時点のもの）

4)建物形態や建築の前提とする条件

- ・構造は地震や津波等のリスクを考慮し、RC造を想定
- ・30人学級を基本とし、共用教室等の方針は基本計画案のとおり
- ・各学年に一クラスの普通教室と必要な特別支援学級クラスを設置

20

基本計画案の見直し【計画条件】について

5)災害への安全対策

- ・現在の地盤高さ以上に安全な校庭や建物フロアー高さを維持
- ・構内の屋上等への一時避難の円滑な避難路確保
- ・場外からの一時避難タワーとして屋外階段からの避難路の確保

6)児童生徒等の安全・防犯対策

- ・通学や送迎による車両との接触事故回避
- ・職員の管理監視方法、機械設備等の導入

7)工事中の安全性や教育環境への配慮

- ・工事車両と利用者との動線分離による安全確保など
- ・工事期間中の保育教育環境の確保（振動・騒音・粉塵等の低減）

8)施設集約化による危険性の低減

- ・特殊教室や体育館、プール、ほか特別教室等の共用による不便や危険性の低減

9)建設コストやメンテナンスの低減

- ・施設規模の縮減やコスト減となる計画づくり
- ・高耐久性や施設価値の存続、将来の空教室への他用途転換の事前準備が必要

21

■以前からの学校計画の条件

基本計画案の基本的条件

【普通教室】

- ・普通教室は小学校6教室、中学校3教室を確保して、教室の大きさは、縦8.0m×横8.0mの64㎡とする。30人学級を基本とする。

【特別教室ほか】

- 小学校：理科室、音楽室、保健室、特別支援教室（3室）など

→図画工作室は、中学校の「美術室・技術室」を共用

→家庭科室は、中学校の「被服室・調理室」を共用

- 中学校：理科室、音楽室、美術室、技術室、被服室、調理室、特別活動室、教育相談室、進路資料・指導室、保健室、特別支援教室（4室）等

■共同利用施設

- ・体育館・図書館・プール（置き床式を想定） ・ランチルーム

【階層・避難計画】

- ・小中校舎棟は3階建てまたは2階建て以下とする。
- ・こども園舎は浸水災害時に備えて小中校舎屋上への避難経路を確保する。

【動線交通計画】

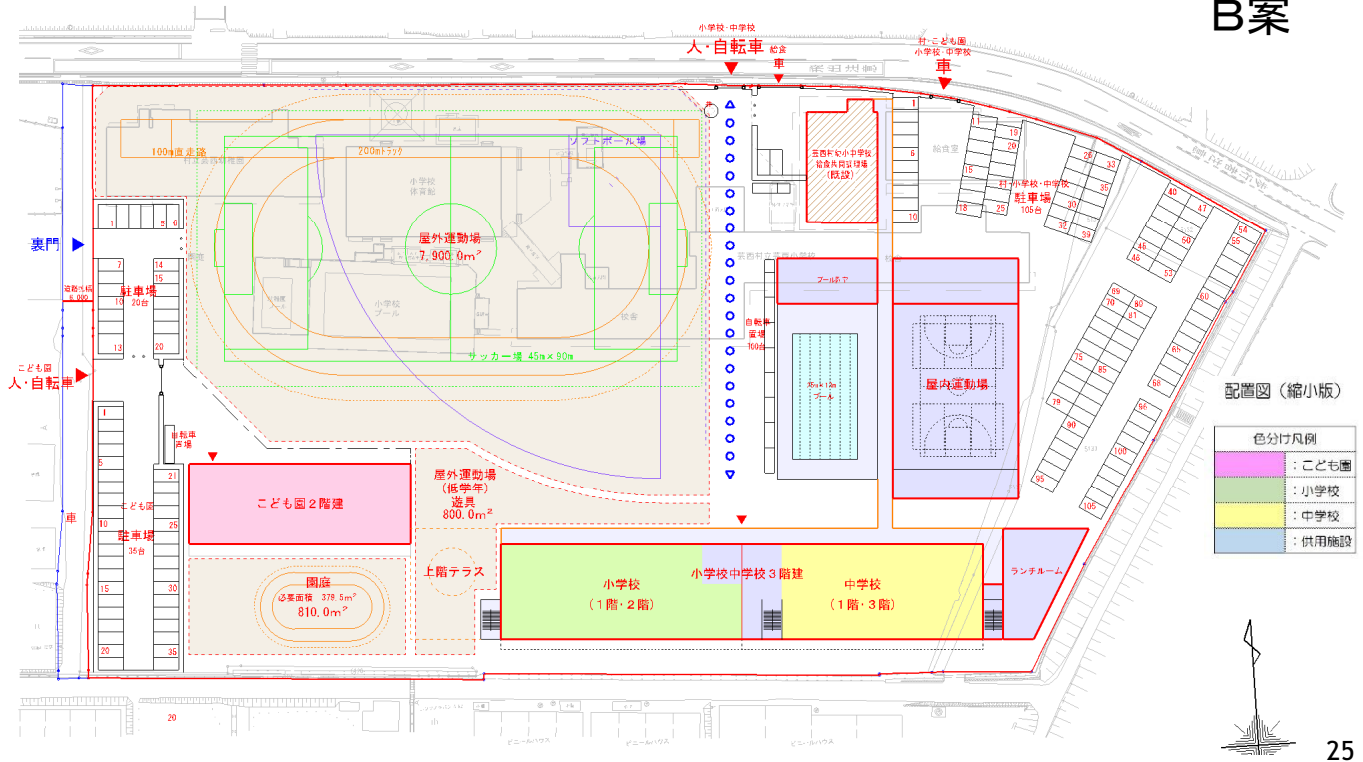
- ・小中は北側の前面道路に校門を設け、歩行者・車両は分離する。
- ・西側の村道は拡幅し、こども園ほかの送迎車両等の通行を安全を確保する。

22

■B案：西側から、こども園⇒小学校⇒中学校⇒体育館の並び
 ◇こども園は南西部となり、西側村道からの出入りとなる
 ◇体育館、プールが東寄り、駐車場は最大台数が確保できる

(駐車場合計 160台)

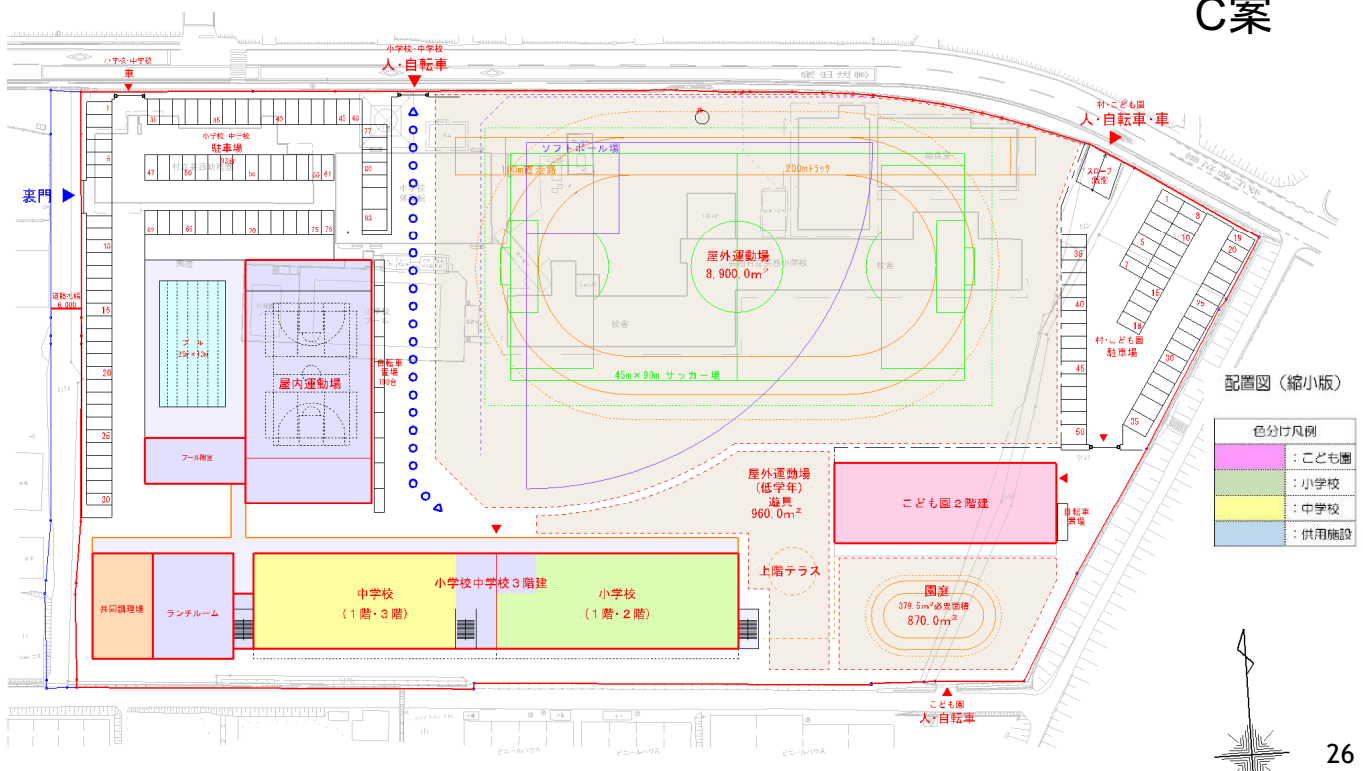
B案



■C案：共同調理場を建替え移転し、グラウンドが東寄り (比較用)
 ◇A案の派生案として、共同調理場を南西端に移転
 ◇中小学校の校門を前面道路の直線区間の中央に確保

(駐車場合計 133台)

C案



◇体育館は面積が大きいので、ランチルームをプールの横に配置

D案



28

見直した基本計画4案の比較について1/2

	C案	D案
【施設間連携の考え方】	・前面道路の中央西寄りから小中正門を、東側からこども園専用の出入口を設けて分離 ※共同調理場を建て替えば場合の試案	・前面道路の中央西寄りから小中正門を、東側からこども園専用の出入口を設けて分離 ※原案の北側校舎+南側グラウンドの継承試案
【建物の配置の方針】	・校舎・こども園舎・新共同調理場は南側に配置 ・体育館とプールは西側の中央に配置	・校舎・体育館とプールは北側に配置※現計画案と同様 ・体育館とプールは東側の北部に配置
【利用者の動線（アプローチ）】	・児童生徒は中央付近からアプローチ（校内動線長い） ・こども園は現調理場の東隣りから（カーブにかかる） ・新共同調理場は西側村道から専用出入り（裏門兼用）	・児童生徒は中央付近からアプローチ（校内動線短い） ・こども園は西側村道から専用出入口からアクセス
【車動線～駐車場の位置・台数】	・こども園は調理場東隣からの出入り（カーブにかかる） ・小中学校とこども園の車両動線・駐車場は完全に分離型 ・小中用83台、こども園と予備50台、 総数133台	・小中用車両は前面道路側2カ所から出入り ・小中学校とこども園の車両動線・駐車場は基本的に分離型 ・小中用と予備116台、こども園は20台、 総数136台
【駐輪場の台数・配置】	・構内に100台	・構内に100台
【校庭・グラウンド・園庭】	・低学年用の校庭確保 ・こども園の園庭とは離れる	・低学年用の校庭確保 ・こども園の園庭がつながる（視覚的に連続）
【災害安全面の対策】	・0.5m以上の地盤面の嵩上げが必要 ・屋外避難階段へのアプローチが長い	・現在の校舎敷きのため、嵩上げが不要 ・屋外避難階段へのアプローチが短い
【工事費（相对比较）】		
【工事の期間】	・約3.5年程度（土木造成工事を除く）	・約2年弱（土木造成工事を除く）
【学習環境（影響）】	小中新校舎が完成後、隣接する体育館のプール工事となる ・校庭（グラウンド）は使用不可 ・体育館プールは継続使用が可能	・小学生が仮設校舎（中学校内）に引越すので、学習環境への影響はもっとも少ない ・体育館プールは継続使用が可能
【施工計画ステップ】	1) 西側村道拡幅、農地及び校舎敷の造成工事 2) 村営住宅跡へ仮駐車場整備した後、こども園、小中学校舎 共同調理場 を新築 3) 幼稚園保育所、小学校の引越し後、既存校舎群を解体 4) 保育所解体し、村営駐車場整備。プール新築後に既小学校を解体 5) 新体育館建設後に旧体育館を解体 6) 屋外運動場（グラウンド）～駐車場の整備 ⇒完了	1) 西側村道拡幅、農地及び校舎敷の造成工事 2-1) こども園舎と校舎、プール体育館を新築し、幼稚園と保育所を引越し 2-2) 保育所解体し、村営駐車場を整備、小学校の引越し 3) 既存の幼稚園舎、校舎、プール体育館を一式解体 4) 屋外運動場（グラウンド）～駐車場の整備 ⇒完了 ※工事完了後に中学校の引越し
【仮設校舎の有無】	・不要	・不要

29

第2回

芸西村 教育施設集約化ワーキング部会

テーマ: 前回のWS意見を反映した新配置計画4案を知ろう!

各班で最も良い案を選び、さらに各案の課題や解決策を探ろう!

■第2回目を開催しました

- 日時: 2025年8月1日(金) 19:00-21:00
- 場所: 芸西村生涯学習館 2階学習室
- 参加人数: 18名



前回のワーキングでは、前年度の基本計画案に関する改善策等について意見をいただきました。

今回のワーキングは、前回意見をもとに、基本計画を再検討し、A～Dの4つの配置見直し計画から、班ごとに一案を選び、選んだ案について「良い点」「課題・問題点」「疑問点」「改良・改善アイデア」の意見を出し合いました。

次回のワーキングで、今回のワーキングと9月に実施する住民説明会結果を踏まえた最終案に対して意見交換を行います。

なお、前回のワーキング時に質疑のあった敷地選定の経緯や根拠については、冒頭で事務局から改めて説明がありました。

■グループワークの様子です



参加者は4班に分かれ、A～Dの4つの案に対し、一番いい案、次点でいい案をそれぞれ選び、投票を行いました。



班で一番得点の高かった案を大判の模造紙に張り、選んだ案の「良い点」「課題・問題点」「疑問点」を付箋に書き出しました。



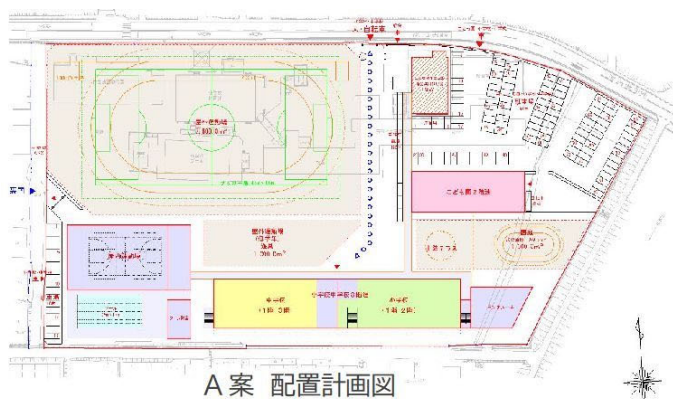
班で出された「課題や疑問点」に対する「改良・改善アイデア」について、多面的に議論・意見交換をしました。



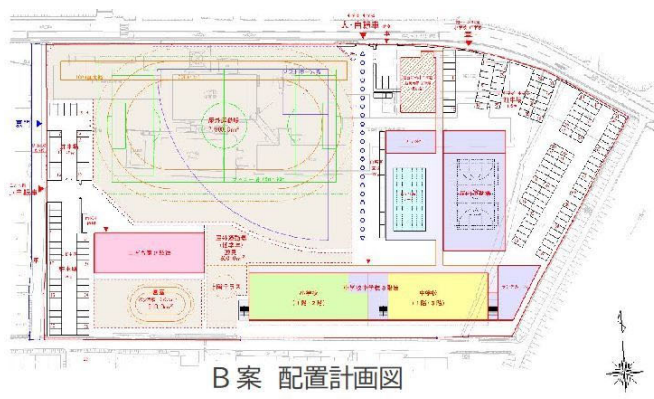
最後に、各班で選んだ案と、案に対する異見をとりまとめ、各班から全員に向けて発表して、ワーキングの成果を共有しました。

30

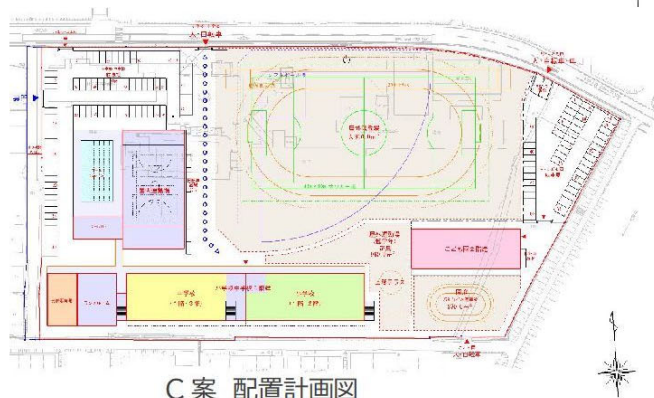
南側校舎配置案の4案から、良い案を選び各班で議論！



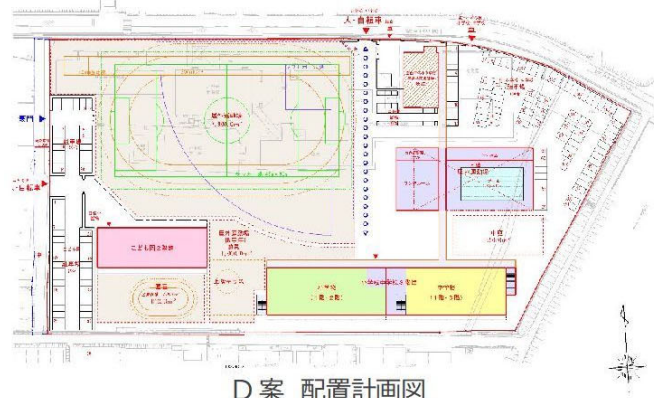
A 案 配置計画図



B 案 配置計画図



C 案 配置計画図



D 案 配置計画図

31

グループワークで出た意見・アイデア

全4班から出た意見を一部ご紹介します。今回の意見を踏まえ、最終案を作成し、次回ワークショップで課題や改良点を議論します。

1 班 B 案(+C 案)



良い点

○こども園の配置が良い(専用駐車場が近い、川から遠く安全)。

課題・問題点

○調理場とランチルームが遠い。
○こども園と学校の分断・生活時間の違いに懸念。

改良・改善アイデア

○避難経路・避難場所の確保、防災教育の充実。
○体育館と運動場を隣接させ一体利用。
○調理場を移設し、跡地を低学年用プールとして利用。

○ランチルームを無くして小プールなどに使用。
○小学生用・中学生用としてプールの深さをコース別に分ける。
○こども園は防音壁にする。

2 班 B 案



良い点

○工期が短く、工事費が安い。
○駐車場から体育館へのアクセスが良く、地域の人も利用しやすい。
○外部からこども園のアクセスが良い。

課題・問題点

○こども園入口は人目が少ない場所のため防犯面で懸念がある。
○共同調理場や校門から校舎が遠い。
○今の教室が狭い。

疑問点

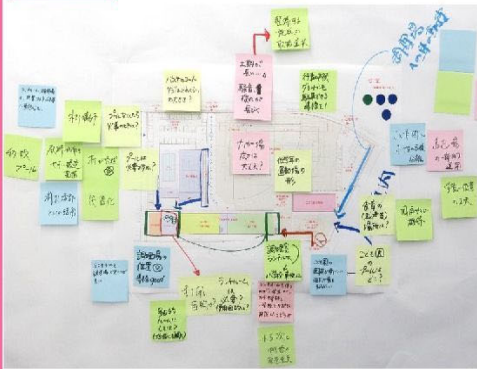
○プールや運動場の様子が駐車場や道路から見えないか。
○ランチルームは必要か？
○周辺ハウスや避難経路などへの影響は？

改良・改善アイデア

○グラウンドの目隠し設置やプールへの屋根の設置・体育館との配置を入替。
○教室拡張や給食運搬方法の改善、着替えスペースの確保。

32

3 班 C 案



良い点

- 調理場の位置を変更し、調理場とランチルームが近く、動線が良い。
- こども園と学校の動線が分離されている。

疑問点

- ランチルームやプールの必要性。
- 食育やこども園のプールの設置場所。
- サッカー・バスケ等のコートの規模はどの程度か、配置は適切か。

課題・問題点

- ランチルームや調理場の将来的な負担、工期の長さ、工事騒音が懸念。
- こども園と学童の送迎場の一体利用ができない。

改良・改善アイデア

- ランチルームを多目的のルーム化し、地域にも開放する。
- 調理室等を小学校の東側に配置。
- プールは村で管理、民営化の検討、外部講師の雇用を検討する。

4 班 A 案と B 案



良い点

- A: プールの日当たりが良い。
- A: 工期が短い。
- B: 運動場の日当たりやこども園駐車場の独立性が良い。
- B: こども園から小中学生の様子が見える。

課題・問題点

- A: 運動場の日当たりが悪そう。
- A: こども園と自転車置き場が近いと危険。

疑問点

- A: 工事中(運動場閉鎖中)でも体育授業が十分にできるか。

改良・改善アイデア

- A: 先生や子どもの意見を積極的に聴取してほしい。
- A: 駐車場の分割、入口の検討で安全確保。屋根をつけて雨天時に対応。
- A: ランチルーム削減でスペース確保。
- B: プールを東へ配置し日当たりを改善してほしい。

などなど…この他にも多数のご意見をいただきました！

33

3. その他

3-1. 今後の予定

- ・ 本日までの検討委員会、ワーキング部会（WS）、住民説明会の意見を踏まえて、最終基本案をとりまとめる。
- ・ これを下段の予定表に沿って、検討委員会、ワーキング部会（WS）に諮り、その結果は次回の住民説明会にかける。

日程	◆検討委員会	■ワーキング部会（WS）	●住民説明会
10月～11月	◆第7回基本計画検討委員会 ・ 住民説明会結果報告確認 ・ 今年度の進め方	■第3回住民WS（10月予定） ・ 最終案確認～利用計画等の意見交換 ・ 課題抽出～基本設計条件の提示	●第3回住民説明会 ・ 最終案の報告 12/21予定
12月～ 令和8年3月	とりまとめ ～ 基本設計業者の選定準備期間		

34

3-2. 質疑応答



35

- ご清聴ありがとうございました。



36